

大空 (生徒・保護者向け) 33号

宮崎県立宮崎西高校・宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 校長通信

令和3年4月8日(木)

NFC(Nishiko Future Competency)と自走する力(1学期始業式)

□本日の概要

- 新しい学力観では、育成すべき資質・能力を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性等」の3つの要素に整理された。
- 本校では「学びに向かう力・人間性等」をさらに「感性、探究心、主体性、行動力、自他肯定力、協働力、創造力、想像力、道徳心」の9つの要素に整理し、育成すべき資質能力をNFC(Nishiko Future Competency)と定義した。
- コロナ禍の中、主体性が特に求められている。自らが主体的に行動する自走する集団になってほしい。

□コロナ禍2年目のスタート

本日より令和3年度が始まります。昨年度は、新型コロナウイルスにより世界が一変した一年でした。一日でも早い終息を期待したい所ですが、ワクチンの普及には、まだまだ時間がかかりそうです。しかし、悲観することはありません。昨年不安だらけでしたが、今年は違います。ある程度時間はかかるかもしれませんが、出口の光が見えています。本年度は、新型コロナウイルスに対する対策を継続しながら、可能な限り学習面も行事も推進していく予定です。大切なのは、皆さんの心構えで、油断は禁物です。検温、マスクの着用や、昼食の取り方、ソーシャルディスタンスなど、基本を徹底することが、学校生活、そして皆さんの家族の安心・安全につながります。新型コロナウイルスとの共存のための正しい知識を再確認し、昨年以上の充実した学校を創っていきましょう。

□育成すべき資質・能力とは何か

さて、皆さんは「学力の3要素」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。学力というと、皆さんは、まず大学入試共通テストに代表されるような、テストを解き高得点を取る力をイメージすることでしょう。もちろんそれは大切な力ではありますが、人が身につけるべき学力は、大学入試問題を解く能力だけではありません。変化の著しい現代社会は正解のない課題が山積しており、その解決には、様々な情報を比較したり、他者と議論し、協働により解決を図ることが必要です。また、学生時代だけ学ぶのではなく、生涯学びに向かう姿勢も重要になるなど、多様な力が要求されます。このような時代に対応するために必要な力について、専門家による議論

が重ねられ、新しい学習指導要領(国が示す教育課程の基準)の中で、学力の3要素として整理されたのです。

この新しい学力観では、従来の学力観と区別するため「学力」という言葉の代わりに「育成すべき資質・能力」という言葉が使われており、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」の3つの要素で整理されています。昔の試験は、この「知識・技能」の部分をストレートに問うものが多かったのですが、最近の大学入学共通テストに代表される試験は、複数の資料を組み合わせたり、実際の生活の場面を想定させたりと、様々な工夫をして「思考力・判断力・表現力」の部分も評価しようとしています。そのため、大学入試共通テストや大学の個別試験は、小テスト対策のような単なる丸暗記の学習では通用しないことは、皆さんも先生方から聞いていると思います。

□「資質・能力」をどうやって評価するか

旧来の学力観では、テストなどで点数化しやすいものを学力と考えてきましたが、新しい学力観、すなわち「資質・能力」は、テストなどで点数化しにくいものも含まれています。(そのため、「見えない学力」と言われることもあります。)それをできるだけ具体化するため、宮崎西高校では、昨年1年間かけて、言葉による評価基準(ルーブリックといいます)を考えてきました。まだ、完成されたものではありませんが、皆さんにも、この基準に基づき自己評価をしてもらう予定ですので、今日はその一部を紹介します。

<知識・技能が高いレベルで身につけている状態>

- ・各教科で必要な知識・概念・法則やものの見方などが十分に身につけており、他教科の学習や日常生活において適切に活用することができる。
- ・国語力・語学力・計算力等、自分の考えを表現したり処理したりするための力が十分身につけている。
- ・観察や実験などの過程や結果を数式やグラフなどを用いて分かりやすく説明したり、資料やデータを分析した結果を分かりやすく図表を用いてまとめたりすることができる。

<思考力・判断力・表現力が高いレベルで身につけている状態>

- ・物事や意見等を批判的に捉え、科学的・論理的な根拠に基づき分析し、有用性のある考えを創

造することができる。

- ・課題を見だし、その解決の方向性を探し、結果を予測しながら実行し、次の問題発見・解決につなぐことができる。
- ・自分の考えを形成し、目的や場面、状況に応じて互いの考えを伝え合い、多様な考えを理解した上で、集団としての考えを形成し適切なツールを活用して表現することができる。

□学びに向かう力・人間性等とは

それでは、「学びに向かう力・人間性等」とは何でしょうか。これは、かつては「主体的に学びに向かう態度」とか、「関心・意欲・態度」などと表現されており、通知表などでは、○で評価したり、記述で評価されていました。あまり関心がなかったかもしれませんが、実はこの力が、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」と同じように重要な力であることが、様々な研究の結果、明らかになっているのです。この力には、自己の感情や行動を統制する能力（メタ認知と呼ばれます）や協働する力、リーダーシップ、感性、優しさや思いやりなど、幅広い概念が含まれます。

□「資質・能力」を高めるには

「資質・能力」を高めるには、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性等」の3つの要素をバランス良く身につけることが必要です。本校は昨年より「STEAM教育」の推進を掲げていますが、「STEAM教育」とは、理性と感性のバランスをとりながら、「資質・能力」を育成しようという考え方ですので、実は学習指導要領の考え方と基本的に同じです。本校では、この「学びに向かう力・人間性等」の育成の部分「STEAM」の「A」、つまり「Art＝感性」を大切にするという表現で、皆さんに伝えてきました。

「学びに向かう力・人間性等」には感性が含まれますが、幅広い力であるため、感性を含めて9つの力に分類・整理しました。そして、宮崎西高校で身につける「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性等」とともにNFC（Nishiko Future Competency）という名前を付け、整理しました。（文末図表参照）昨年から本校が取り組んできたことや、このNFCを意識しており、私の講話などでは、具体的な事例を踏まえ、皆さんに話してきました。皆さんも、これからの教育活動について、NFCの中のどのような力を伸ばそうとしているのか、意識しながら取り組んで欲しいと思います。

□主体性＝自走する生徒の育成

最後に、今日はNFCを意識の要素の一つである「主体性」について少し触れておきます。NFCでは、主体性が身につけている状態を以下のように定義しています。

<主体性が高いレベルで身につけている状態>

- ・学ぶことに興味・関心を持ち、自己のキャリア

形成の方向と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、改善点や新たな課題を見だし積極的に取り組むことができる。

この「学ぶこと」はいわゆる教科の学習だけに限定されません。「資質・能力」は、教科で学ぶことや、学びを支える生活態度等も含むからです。皆さんが、自分の将来の方向を意識し、自分で、自分の課題を克服していく態度が身につけば、勉強面で言えば、宿題やテストなどを大量に課す必要性はなくなり、生活面でも、規則などを細かく厳しくする必要はありません。

私は、皆さんに、主体的に生きる人になって欲しいと思っています。私たちは昨年のコロナ禍の中で、学習面でも、生活面でも、自宅で、自分で自分を律する難しさを痛感したはずで、ここで必要とされた力が「主体性」でした。そのため、学習面でも、生活面でも、皆さんの主体性を重んじるように、大きく学校を変えたいと思っています。昨年度、「西校プライド」という言葉を伝えましたが、学習面でも、生活面でも、「先生、大丈夫です。自分のことは自分でやってみます。困ったら先生に相談します。自分たちに任せてください。」と言えるプライドを持った集団に成長して欲しいと思っていますが、しかし、現状の皆さんを見ると、まだ、不安を感じるのも事実です。コロナ禍を単なる不幸な期間にするのではなく、私は、自らをバージョンアップさせるチャンスにしようではありませんか。皆さんが自走する集団になることを期待します。

